

第19回

へブル語講座アウカルト

【シエマ】聞きなさい

「聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。」(申命記6・4)

שמע

シエマ

●モーセは民に対して、「聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。」(申命記6・4)と語りました。またヘルモン山でイエシユアが変貌した時に、御父が雲の中から、イエシユアの三人の弟子(ペテロとヤコブとその兄弟ヨハネ)に対して、「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言つことを聞け。」(マタイ17・5)と語っています。この二つの記事で重要なのは、いずれも「聞け(シエマ)」という言葉を聞け」とは、御子イエシユアの語ることばを聞きなさいということなのです。果たして、旧約のイスラエルの民はモーセの言うことを聞いたでしょうか。また新約の教会はイエシユアの語ることばを聞いているでしょうか。答

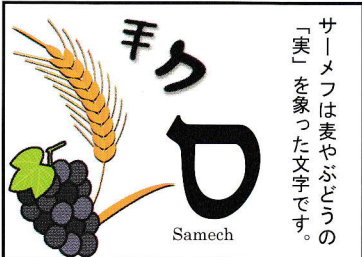
えは、いずれも聞いていないのです。驚かれるかもしれませんが、事実そうなのです。イエシユアはユダヤ人に対してこう語っています。「もしも、あなたがたがモーセを信じているのなら、わたしを信じたはずですよ。モーセが書いたのはわたしのことなのですから」と(ヨハネ5・46)。つまりモーセが「聞け、イスラエルよ」と語ったのは、御父が「彼の言つことを聞け」と語ったのと同義だということです。ですから、イスラエルも教会もイエシユアの語ることばを聞かなければなりません。

●イエシユアの語ったことばとは何でしょうか。それは徹頭徹尾「天の御国」(神の国)について、つまり「御国の福音」でした(マタイ4・23)。しかもそれをたたとえて語っています。分かりやすくするためにありません。たとえに隠された真意を自ら尋ね求めさせるためです。弟子たちもたとえの意味をイエシユアに尋ねました(ルカ8・9)。尋ね求めることがなければ、その真意である天の御国の奥義は閉ざされてしまふのです。これが神の知恵です。またイエシユアがなされた数多くの奇蹟も、御国が来るとこのようになるというデモンストレーションでした。

●「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」と言って、イエシユアは宣教を開始されました(マタイ4・17)。使徒パウロも自分が受けた神の恵みの福音を証しましたが、同時に、「御国(の福音)」を宣べ伝えたのです。「御国の福音」とは、神のご計画の全体像です(使徒20・24、27)。私たちはそれを聞き、悟って、そして余すところなく(「怯むことなく」)宣べ伝えなければなりません。やがて終わりの日には、「イスラエルの残りの者」も開眼して「御国の福音」を語る時が来るのです(ゼカリヤ12・10、マタイ24・14)。

(銘形秀則)

はじめに神は…



サーメフは麦やぶどうの「実」を象った文字です。

Samech



イサクは息子ヤコブに

創 27:37

麦とぶどう酒の祝福を祈りました。



主イエスはご自分を

パンとぶどう酒にたとえられました。



やがて主イエスは再臨され、

イスラエルを祝福し、その御国を治められます。

作・堀田由美

編集後記 (史料・機関誌委員会から)

日本列島の地域差による気候の複雑さ！

風水害多発化で日常生活の支障があるかと思えば、酷暑で熱中症、コロナ禍の代わりにインフルエンザやプール病の流行などなど、あわたたしい毎日です。それでもやっつと、朝夕に秋の気配を感じる頃となりました。

第七回日本伝道会議も開催され、秋は宣教の季節！ 様々な支障と靈的に戦いつつ、信仰が増し加えられる秋でありますように。



発行者

宗教法人 日本神の教会連盟

東京都練馬区羽沢二丁目一九

練馬神の教会内

相原典之

編集者

沼 慎二

福岡県筑紫野市二日市北二丁目一八一六

日本神の教会連盟 二日市栄光キリスト教会

電話&FAX 〇九二(九二四)五〇九八